



やすらぎの健康福祉都市

介護保険準備室を設置

保健・福祉の総合計画「けやきのまちのしあわせプラン」をもとに、在宅介護や子育て、障害者支援など市民福祉の各種サービスを広く充実していきます。介護保険制度への準備も本格的に始めます。

介護が必要なお年寄りのサービスを充実

四月一日、外旭川地区にデイサービスセンターがオープンしました。また川口デイサービスセンターでは朝と夕方の利用時



デイサービスもより充実したものに（八橋老人デイサービスセンターで）

間を延長しています。

浜田地区に特別養護老人ホームが十二月に新しくでき、デイサービスセンターや総合相談窓口機能のある在宅介護支援センターを併設します。

痴呆性のお年寄りが少人数のグループで共同生活を営むグループホーム事業を始めます。生活援助員がお年寄りをサポートし、家庭的な環境のもとで、本人の状態の安定や家族の負担軽減をはかります。

平成十二年度の介護保険制度の実施に向け、必要と見込まれるサービス量の算定や保険料の設定などのため、六十五歳以上の市民二万五千人を対象に実態調査を行います。実施までの準備を行う介護保険準備室を福祉保健部門に新設しました。



知的障害者のデイサービスセンター「ふきのとう」

秋田市障害者プランをもとに事業を展開

常時介護を必要とする身体障害者が入所する療護施設を下新城地区に整備し、あわせて在宅の身体障害者へのデイサービス、短期入所事業も行います。

在宅の障害者や家族の地域生活を支援するため、障害者施設の専門機能を活用して、相談の受け付けや福祉サービスの利用援助などを行います。

一般向けに手話奉仕員の養成講座を開き、障害者の社会参加の手助けをします。

保育所の新設や休日保育を実施

保育所を活用した子育て支援として、仁井田地区のあおぞら



子育て総合センターの移動パンダ広場

保育園で新たに休日に利用できる保育サービスを始めます。

保護者が病气や看病などお子さんの面倒をみられないときに、一時的にお預かりする保育所が増えます。低年齢児を受け入れる保育所や開所時間を延長する保育所も増えます。

定員九十人の（仮称）さくら保育園が、来春、桜地区に開所します。

子育て総合センターでは、専任の保健婦を配置したり、子育て情報などを集めた情報誌を発行したりして、家庭や地域での子育てを幅広く応援します。

健康な暮らしをバックアップ

妊婦から乳幼児までの一貫した健診体制を活用し、1歳6か月児健診や3歳児健診後の相談・指導を充実して、障害のある乳幼児を早期に療育できるように支援します。

近年増加傾向にある糖尿病を予防し、早期発見・治療に結びつけることができるよう、基本健康診査（四十歳以上の市民対象）の検査内容を充実します。

結核検診やエイズクリニックを行い、感染者の早期発見と予防のための正しい知識の普及につとめます。結核や伝染病が発生した場合に、速やかに対応し、二次感染を防ぎます。

秋田市の国民健康保険加入者を対象に、大腸がん検診を無料で受けられるようにします。

秋田赤十字病院の移転新築事業に助成します。

市立秋田総合病院では、救急医療体制の強化と経営の健全化を主眼に、増改築計画を推進し



新焼却炉を建設する御所野事業所

安全で安心なまちづくりを進めます

御所野事業所では、老朽化したごみ焼却炉二基に代え、高度なダイオキシン対策などを取り入れた新焼却炉の建設に着手します。平成十三年度までかけて完成の予定です。

リサイクルプラザは来年三月の完成をめざします。資源ごみ再利用の中核施設になるとともに、市民の環境学習の場ともなります。分別収集を視野にペットボトルも処理できる機械を導入します。

冬道の安全な通行のため、横森三丁目梨平線など二路線の坂道に融雪装置を設けます。完成すると計画の四十四路線がすべて整備されます。

平成十一年度完成予定で外旭川地区に消防出張所を建設。

安全で災害に強いまちづくりを進めるため、県地震被害想定調査の結果に基づいて、平成四年に策定された秋田市地域防災計画を修正します。